

認知症をテーマに福祉劇 「ふれあい一座」が功労者知事表彰受賞



ふれあい一座の皆さん。平均年齢85歳で元気いっぱい活躍されています。

認知症対策に積極的に取り組む個人や団体を表彰する『熊本県認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者』に、市老人クラブ連合会一の宮支部役員でつくる「ふれあい一座」（江藤晃代表、14人）が選ばれ9月21日、県知事表彰が授与されました。

同一座は、認知症への理解と正しい知識の普及啓発を図ろうと平成24年12月に

結成。以後、高齢者が集うサロンや認知症サポーター養成講座などで、ユーモアあふれる劇を披露しています。9月26日に佐藤市長に受賞報告に訪れた一座の皆さんは「一座のみんなは気心が知れた家族のような存在。この受賞を励みにこれからも頑張っていきたい」と、喜びを語りました。

16基の砂防堰堤工事完了

熊本県が事業完了報告会



砂防堰堤の前でバルーンリリースをする園児や関係者。今後、激特事業分の砂防工事が行われます。

一昨年の九州北部豪雨の災害関連緊急砂防事業として、熊本県が進めてきた砂防堰堤工事が9月末に全箇所完成したことを受け、事業完了報告会が10月9日、福岡地区砂防堰堤地で開催され、地元区長や関係者など約70人が参加しました。

報告会では、県の担当者や工事経過報告を行い、パネルを使用して堰堤の構造などを紹介。その後、見学に訪れた坂梨保育園の園児らとともに、復興を祈願しバルーンリリースが行われました。災害で6名の尊い命が奪われた福岡区の市原鉄朗区長は「今回の工事が完了したことで一区切りがついたという気持ち。この災害を風化させず地域住民の方々にも災害への備えをもってもらいたい」と話していました。

神々の舞に観客魅了

第23回神楽フェスティバル



阿蘇市波野の伝統芸能でもある神楽の祭典「第23回神楽フェスティバル」が10月4日、道の駅波野「神楽苑」で開かれ、1000人を超える観客で賑わいました。



台風の接近により翌日の公演は中止となり、元中江岩戸神楽保存会や横堀岩戸神楽保存会をはじめ、大分県や島根県などあわせて7団体が出演。波野小・中学校の波野子ども神楽も出演し、観客から大きな声援が送られました。



部活帰りに着用し安全確保を！ 交通安全協会が蛍光タスキを寄贈



蛍光タスキを受け取る工藤校長（写真左）

阿蘇地区交通安全協会（岩下哲三会長）は9月18日、登下校時に着用する蛍光タスキ460本を、宮地・坂梨・阿蘇・波野小学校にそれぞれ寄贈しました。

部活動などで帰りが遅くなる子どもたちの安全を確保しようと寄贈されたもので、宮地小には2年～6年生に計260本を寄贈。岩下会長から「子どもが事故に遭わないようご指導ください」と、工藤栄治校長に手渡されました。

塗装・防水工事・メンテナンスまで

井上 株式会社

〒869-2302熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <http://www.aso-inoue.com/>

E-mail info@aso-inoue.com

受付 平日 9:00~18:00

※土日祝日は事前連絡により対応可

塗

装

防

水

-お見積・調査 無料-

塗装（屋根・壁・破風板・軒天・塀・建具・他）

防水（雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コキガ・他）

もしも 0967-32-1501

「よさこい」で復興支援 第1回あそYOSAKOI復幸まつり



馬場八幡宮例大祭前夜祭で演舞を披露する「ASO☆KOI華流伝羅」の皆さん

「よさこい」の力で復興途中の阿蘇に元気を届けようと9月27日、あそYOSAKOI I復幸まつりが開かれ、九州各県から17団体250人の踊り子たちが演舞を披露しました。

このまつりは阿蘇市で活動する「ASO☆KOI華流伝羅（寺澤和男会長、30人）」が各団体に呼びかけ企画したもので、坂梨の馬場八幡宮例大祭前夜祭をはじめ、市内3会場を巡り、多彩な演舞で観客を魅了しました。

古城3の2区がコミュニティ助成事業で地域活動備品を整備



地域社会の健全な発展を図ることを目的とした宝くじの助成金により、古城3の2区が地域活動時に不足していたテーブル、イス、厨房機器等を公民館に整備しました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

地域活動備品の整備を行ったことにより、同地区ではコミュニティ活動が一層活発になると期待されます。



コミュニティ助成事業

黒川の将来にわたる安全対策を主軸に

第2回黒川激特事業及び川づくりに係る協議会



県は、激特事業の円滑な実施と災害に強い川づくりを地域の代表と議論する場を設けようと、ことしから「黒川激特事業及び川づくりに係る協議会」を設置しており、第2回会議が10月15日、内牧支所で行われました。

協議会では、安心安全な黒川づくりをより推進するため規約改正を行い、激特事業終了後も黒川河川の中長期改修整備計画に向けた取り組みを重要課題と位置付けたほか、委員も増員し課題解決に向けた態勢が整えられました。

※改正後協議会委員：流域代表区長8名、市議会議員3名、九州電力株式会社、一の宮町土地改良区、阿蘇土地改良区各1名、県職員2名、市職員3名、オプザバー・国交省熊本河川国道事務所ほか専門家

エコで豊かな暮らしの実現を。 阿蘇市エコフォーラム

ごみの減量を図るため3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間（10月）にちなんで阿蘇市エコフォーラムが10月10日、大阿蘇環境センター未来館で開かれ約100人が参加しました。

環境コーディネーターとして活躍する中村幸子氏（熊本市在住）を講師に迎え、生活の中でできる環境に配慮した取り組みなどについて講演。その後、参加者は未来館のリサイクル工程を見学し、適正な分別の大切さなど、認識を深めました。



講演会のようす

阿蘇小学校

地域の **カ** を学校教育に。 学校支援ボランティア事業

手作りの紙芝居で読み聞かせ

阿蘇小学校の放課後子ども教室で9月22日、数年前に鬼八伝説を本にされた市原美代子さん（上役大原）を招いて、手作りの紙芝居などを楽しみました。

まず、「大工と鬼六」を絵巻物で、その後「世界一おいしいスープ」と「目がみえなくなつた鹿」を紙芝居で披露すると、子どもたちは食い入るように聞き入っていました。全て市原さん自身が描いた絵で、いろいろ工夫がなされており、話にも心に沁みるような語りで子どもたちも感じるものがあつたようです。

同校では毎週金曜日の朝の時間に市原さんはじめ6名のボランティアの方による読み聞かせも行われています。



絵巻物を披露する市原さん

ジオを 知ろう！

ジオパーク出前講座実施中！

阿蘇ジオパーク推進協議会では、ジオパークについてのさまざまなことを分かりやすく説明する出前講座を行っています。

団体などの集りの際は、職員がお伺いしますのでぜひご利用ください！！詳しくは下記まで！

****問い合わせ****

阿蘇ジオパーク推進協議会
☎34-2089

全国大会出場おめでとう！

●JOCジュニアオリンピックカップ
第28回全国都道府県対抗中学バレーボール大会
(12月25日～、大阪府)

加納 陸（阿蘇中学校3年）
濱田 桜子（阿蘇中学校2年）

●第14回全国障害者スポーツ大会陸上競技
(11月1日～、長崎県)

家入 久実(ひのくに高等支援学校3年、一の宮中出身)